

普及現地情報
令和4年7月22日
一関農業改良普及センター
記述者 及川愛貴

りんどうの調製作業の流れを確認

去る7月13日、一関地方農林業振興協議会、JAいわて平泉花き部会の共催により、「りんどう栽培初心者セミナー（第3回）」を開催しました。

本セミナーは、今年度から新たに始めたもので、新規生産者の技術の早期習得を目的として、年5回開催する予定です。3回目となる今回は、講師を務める中核生産者の作業場を会場に、収穫後の乾燥、切断、結束、箱詰めまでの一連の流れを確認しました。講師からは、「収穫の段階で長さや段数を選別して採花することで、調製の手間を省くことができる」など、効率的な収穫・調製作業の方法を説明していただきました。参加者からは、「どのくらい咲いたら収穫するのか」、「秀品と優品の判断基準は」など、質問が出されました。

また、圃場へ移動し、出荷中の「いわて夢あおい」の採花状況や定植したばかりの株の生育状況を確認しました。

次回は、8月下旬にりんどう定植圃場の相互巡回を行う予定です。



熱心に講師の説明を聞く参加者（右）



定植圃場の生育状況を確認